鴨池緑地人工芝が完成

生涯スポーツの振興に

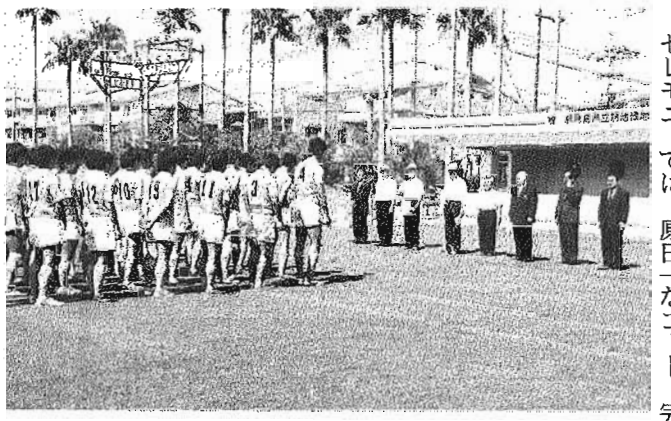
県が鹿児島市の県立鴨池緑地球技場に整備を進めていた、県内では3番目となる人工芝グラウンドがこのほど完成。19日、オープンを祝うセレモニーが現地で開かれ、県をはじめサッカー協会およびラグビー協会関係者が出席。グラウンドいっぱいに敷き詰められた、真新しい人工芝の感触を確かめていた。

同グラウンドは、厚さ35㎜の人工芝を採用。県立としては初の運動施設で、年間を通して快適な環境でサッカーやラグビーなどの競技が楽しめるようになっている。

セレモニーでは、原田耕蔵県教育長が「スポーツやレクリエーションの拠点となるよう期待している。同時に生涯スポーツの振興につながれば」と挨拶。県サッカー協会の長嶺一夫専務理事の挨拶に続き、川畑俊彦県ラクビー協会長が「天候に左右されない立派なコート。完成を機に全国に発信できるよう盛り上げていきたい」と抱負を語った。

エキシビションでは、サッカー（国体少年男子）とラグビー（高校オール鹿児島）の代表選手らが交代でグラウンドに入り、ボールを追いながらピッチの感触を確かめていた。今後、防球ネットやフェンスなどを設置し、10月から本格的に一般利用できる。

施工は、㈱渡辺組と㈱仲野建設が担当した。



県立初の人工芝の完成を祝う関係者＝鹿児島市の現地で

品質確保へ理解

日置市で技術者研修会

県土木部、県建設業協会、県土木施工管理技士会共催の22年度建設技術者研修会が18日、日置市の中央公民館であった。県建設業協会日置支部会員ら多数受講し、工事の品質確保や施工上の留意点などについて理解を深めた。

講師は、県土木部監理課技術管理室や県鹿児島地域振興局建設部日置市駐在の宮原光治技術主幹は、21年度の土木工事検査、監査結果を踏まえ、留意事項を解説。施工体制や出来形・品質管理、安全対策などについて土木工事検査・監査概要や電子入札・電子納品の取り組み、施工における留意点などについてそれぞれ解説した。

このうち、県鹿児島地域振興局建設部日置市駐在の宮原光治技術主幹は、21年度の土木工事検査、監査結果を踏まえ、留意事項を解説。施工体制や出来形・品質管理、安全対策などについて土木工事検査・監査概要や電子入札・電子納品の取り組み、施工における留意点などについてそれぞれ解説した。

講師の話に聞き入る受講者＝日置市の中央公民館で

高校生15人 アーク溶接に挑戦

ものづくり溶接大会県予選

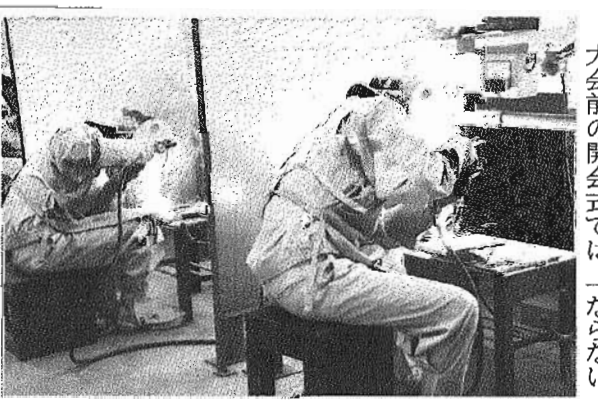
11月に大分県で開催される第3回「九州地区高等学校ものづくり溶接大会」への出場権をかけた県予選大会が18日、霧島市の県工業技術センターで開かれた。県内の工業系高校生15人が、個人と団体の部に出場。審査員の厳しい視線の中、緊張した面持ちでアーク溶接に挑戦した。

大会前の開会式では、県高等学校長協会工業部会の永里和吉会長（鹿児島工業高校長）が「日本経済の発展に欠かすことのできない製造業に目を向け、ものづくりの技能を若者に継承しなければならない。暑い中での競技となるが精一杯頑張ってほしい」と激励した。

また、県溶接協会の石塚俊雄会長は「競い合うことが大事。大会に参加することで次のステップにつながる」などとエールを送った。森田春美九州地区溶接評価委員が、競技要領や注意事項を説明した後、早速競技に移り、これまでの練習の成果を披露した。

今回は、団体の部に加治木工業、有明、鹿児島工業の3校、個人の部には鹿屋工業、鹿児島工業、出水工業から計6人が出場した。男子生徒に交じり個人の部にエントリーした出水工業2年の東中野観菜さんは「高いレベルでの競技となるが、男子生徒に負けないように頑張る」と闘志を燃やしていた。

この日は外観試験のみが採点。後日発表される曲げ試験の結果と総合して入賞者を決める。11月20、21日に大分県で開催される九州大会には、団体1チーム、個人1人が出場する。なお、東中野さんは女子の部への出場が決まっている。



九州大会出場をかけ競技に取り組む生徒＝霧島市の県工業技術センターで

鹿工土木科同窓会

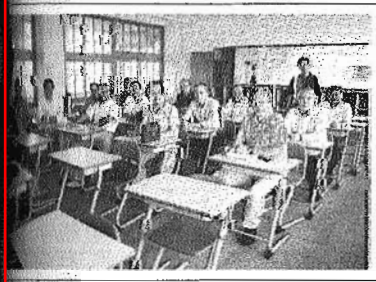
当時にタイムスリップ

昭和44年に鹿児島工業高校土木科（2組）を卒業し、今年還暦を迎えた卒業生らによる同窓会が15日、鹿児島市の天文館「味菜み」で盛大に催された。当時の担任をはじめ懐かしい顔ぶれに、いつまでも思い出話が尽きなかった。

この日は、学校近くの護国神社で慰霊祭と還暦の厄払いを済ませた後、懐かしい教室に移動＝写真＝。ここでは、かつて3年間担任した横山正治さんが教壇に立ち、約1時間にわたり講義した。参加した16人の卒業生は、当時にタイムスリップ。忘れかけた記憶をたどりながら、真剣に授業に取り組んだ。

また、このほど完成した同窓会館や屋内運動場、往時の姿をとどめる大煙突など、歴史に彩られた校内をくまなく見学。卒業生らは変ぼうを遂げる学校の姿に、当時の記憶と現実とを交錯させながらも、母校のさらなる発展に期待を膨らませていた。

今回、幹事役を務めた県鹿児島地域振興局土木建築課の唐仁原耕課長は「われわれのクラスは2年に1回、定期的に実施しているが、今回は卒業後、実に42年ぶりのクラスメートもいた。来年、横山先生が古希（70歳）を迎えることから、今年以上に盛大に催したい」と、既に次回の同窓会を



地域貢献活動

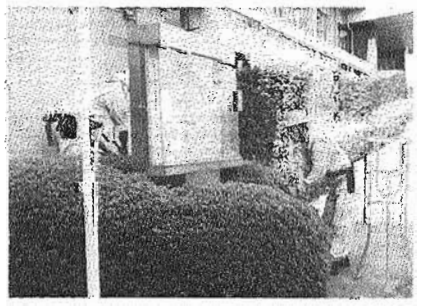
～ 姶良造園建設業協会 ～

プロの技で剪定

姶良造園建設業協会（愛下一会長）は3日、姶良市の県姶良・伊佐地域振興局本庁舎や霧島市溝辺町竹子の国道504号沿いなど3カ所で恒例の奉仕作業を実施した＝写真＝。

午前8時30分、県姶良・伊佐地域振興局本庁舎前に会員9社11人が集合。愛下会長が「毎年恒例の奉仕作業。車両や庁舎を訪れる人に注意しながら作業に当たって」と呼び掛けた。

作業は、植え込みなどに生い茂った雑草の刈り取りや樹木剪定などを中心に実施。手際よい作業に、庁舎を訪れた市民らも「さすがプロの技術ですね」と感心していた。



姶良市での作業を終えた会員らは、霧島市溝辺町竹子の国道504号沿いの里山の林などでも作業に取り組み、関係者から感謝された。

～ 県板金塗装協組鹿屋青年部 ～

遊具を塗装・補修

県板金塗装工業協同組合鹿屋青年部（荒平成章会長）は7日、鹿屋市の東原公園で遊具等の塗装や補修を行い、関係者に喜ばれた＝写真＝。

同市全体の公園数は115カ所で、面積は約180ha。県内では鹿児島市に次ぐ規模で管理に多額の経費を要していることから、同会がボランティアによる塗装等を計画した。

作業を前に、松元徹鹿屋市都市政策課長は「公園管理者として大変ありがたく、感謝します。明日からきれいになった公園で、子供たちが歓声を上げながら楽しく遊んでくれると思います」と激励した。

参加した会員9人は、公園内のさび付いた遊具をプロの技で補修し、きれいに仕上げた。

参加企業は次の通り。

荒平建築板金塗装　アリドメ植村　西建築板金塗装　野口塗装　畠井塗装　浜田塗装　前田建築板金　米田塗装